

横浜市自転車総合計画 自転車等施策検討協議会

自転車の使い方に関する
アンケート調査結果

Contents

■ヨコハマe-アンケートについて	1
1. 回答者の個人属性.....	1
①性別と年齢	1
②普段の自転車の利用頻度	2
2. 自転車の利用目的について	3
3. 「とめる」について	4
①駐輪場が空いていない時の「次の動き方」	4
②「駅近くの必ずとめられる駐輪場」の価格設定	5
③お出かけ先の駐輪で困ったこと	6
④駐輪場が不足する場所の解消の考え方	7
⑤歩道上に駐輪施設を設けるときの留意点	8
4. 「はしる」について	9
①自転車に乗る時に守るようにしている交通ルール	9
②普段の道路の通行する場所	10
③「車道」を通る時の交通ルールの認知度	11
④「歩道」を通る時の交通ルールの認知度	12
⑤交通ルールの認知度と通行場所	12
5. 「まもる」について.....	14
①「歩行者の立場」から自転車に守ってほしいこと	14
②「自動車の立場」から自転車に守ってほしいこと	15
③自転車の交通ルール等を教わる機会	16
④交通ルールの認知度と教わる機会	16
6. 自由意見.....	18

■ヨコハマe-アンケートについて

- ヨコハマe-アンケートは、市内在住の15歳以上の方を対象にメンバー募集し、市政に関するアンケートにインターネットでご協力いただき、モニター方式のアンケート調査です。
- 今回、「自転車の使い方に関するアンケート調査」として、自転車の普段の使い方や、交通ルールの遵守状況などを調査しました。
- 具体的な質問内容については、巻末参考資料を参照ください。

■調査概要

実施期間：平成26年12月5日(金)～12月19日(金)

回答者数：789人

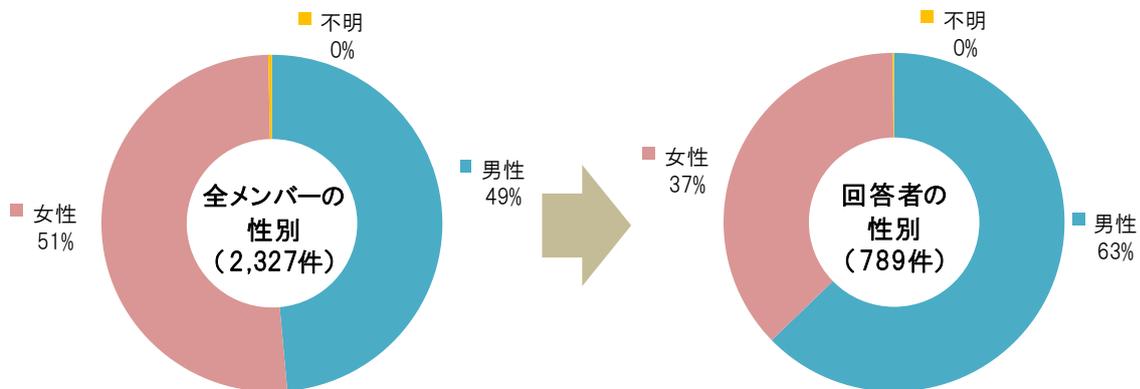
(全メンバー数2,327人のうち、33.9%)

1. 回答者の個人属性

①性別と年齢

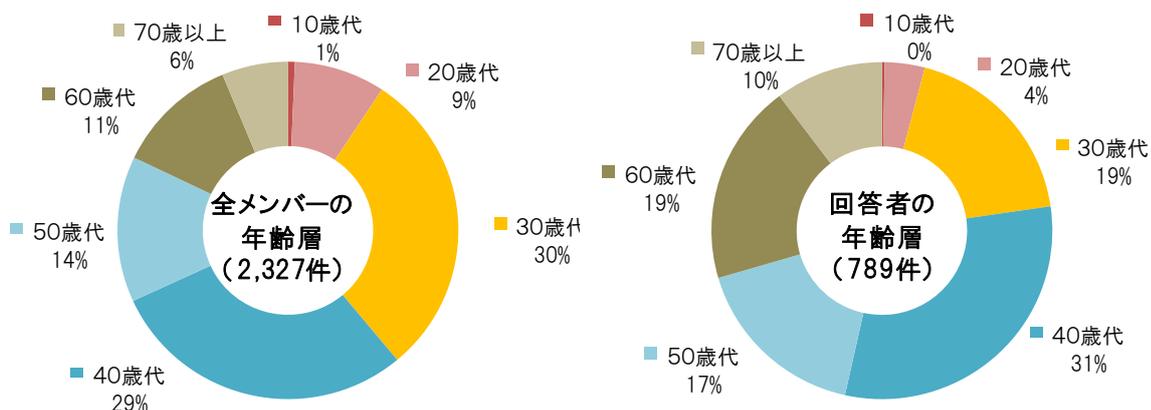
■性別

- 対象メンバー全体では、男性/女性の比率はほぼ同率ですが、自転車に関するアンケート調査では、男性の割合が女性に比べて高くなっています。



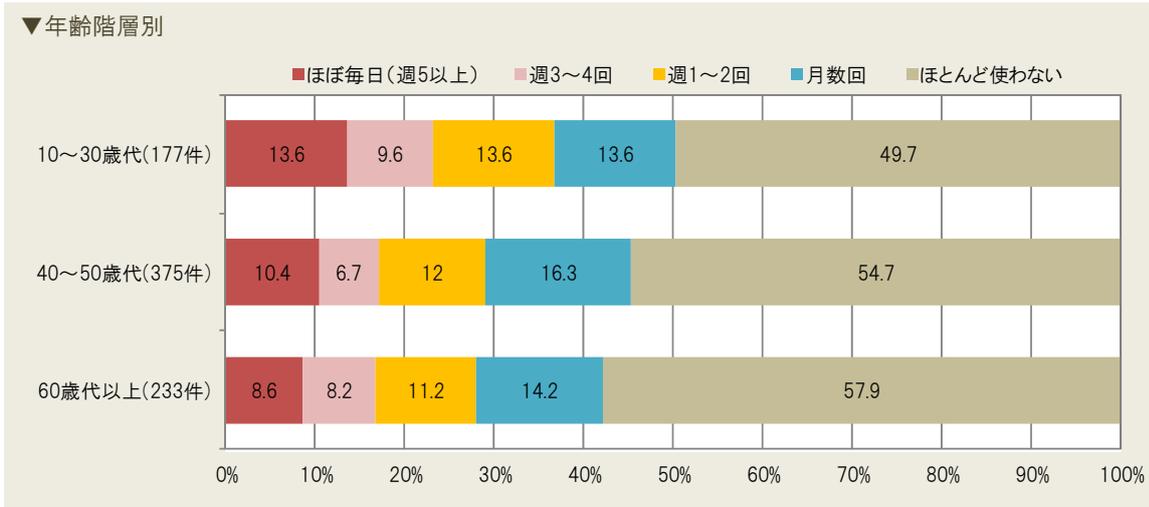
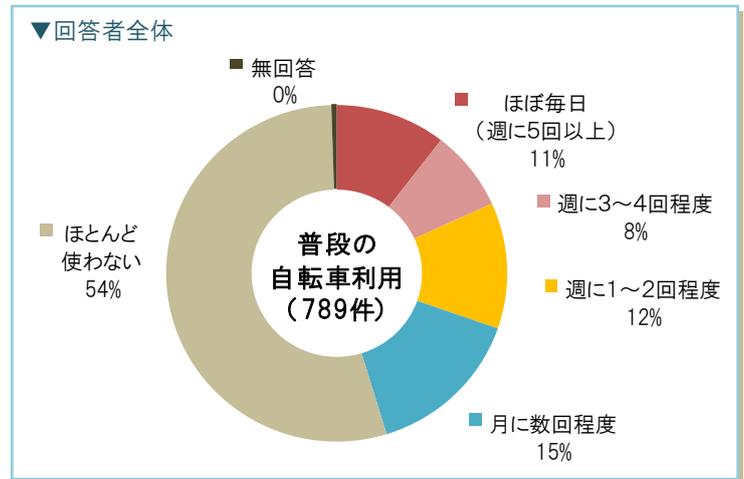
■年齢層

- 対象メンバー全体に比べると、60歳代、70歳代の高齢の回答者が多い傾向が見られます。



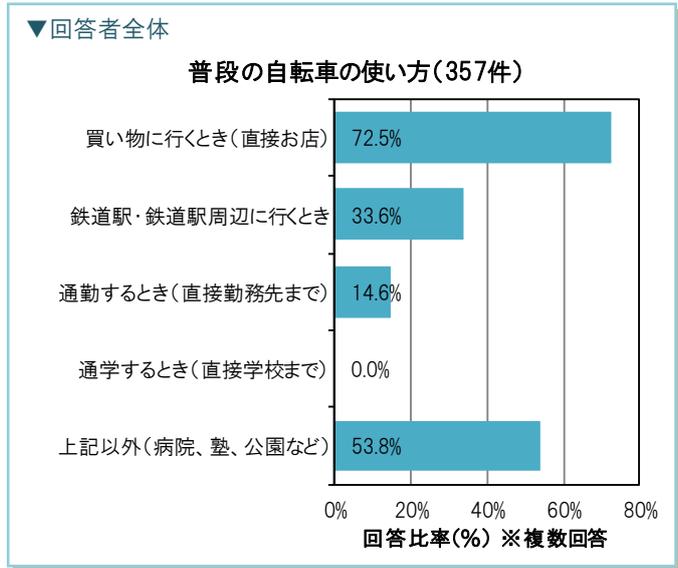
② 普段の自転車の利用頻度

- 普段の自転車の利用頻度では、**「ほとんど使わない」人が54%**と半数以上を占めています。
- ほぼ毎日もしくは週に3~4回程度の平日を含めて自転車を**「よく使う」人は合計で19%**、週に1~2回程度もしくは月数回程度の**「たまに使う」人は合計で27%**です。
- 年齢層別にみると、年齢層が高くなるにつれて「ほとんど使わない」と回答する人が増える傾向があります。
- また、10~30歳代では、平日を含めてよく使う人が多くなっています。



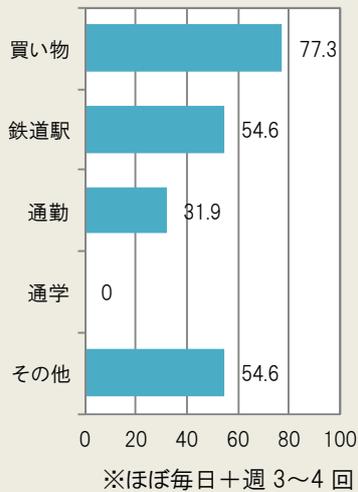
2. 自転車の利用目的について

- 自転車の利用目的については、「買い物に行く時」が、回答者 357 人中 73% を占めています。一方「鉄道駅や駅周辺」は 34% であり、**自転車利用は、直接目的地に行く利用が多くなっています。**
- **普段の自転車利用が多い方は通勤（直接勤務先まで）や鉄道駅に行く利用が多くなっており、それらは毎日の行動のため、自転車利用が多くなっていると推定されます。**また年齢層別では、**高齢者が若干、通勤利用が減少する一方で、病院等を含めたその他施設への利用が増える傾向**がみられます。

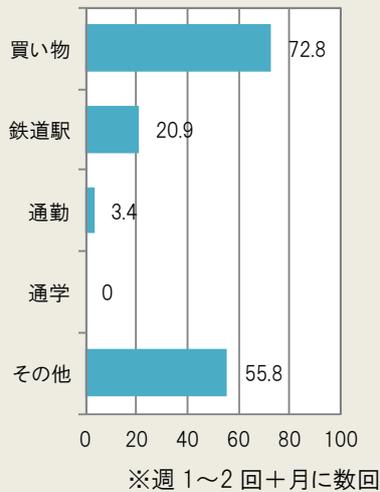


▼普段の自転車利用の頻度別

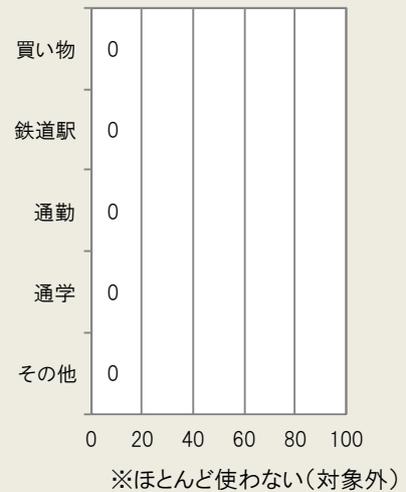
①よく使う(141件)



②たまに使う(206件)

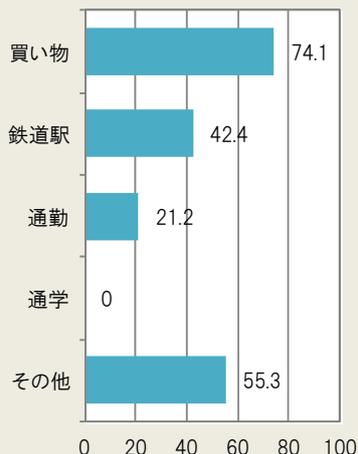


③使わない(-件)

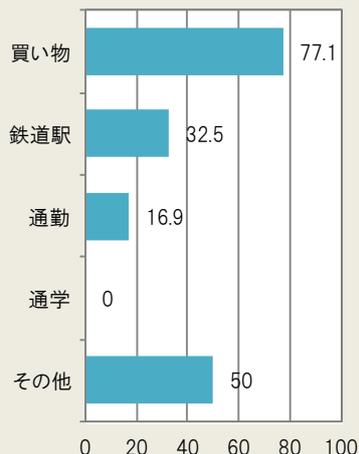


▼年齢階層別

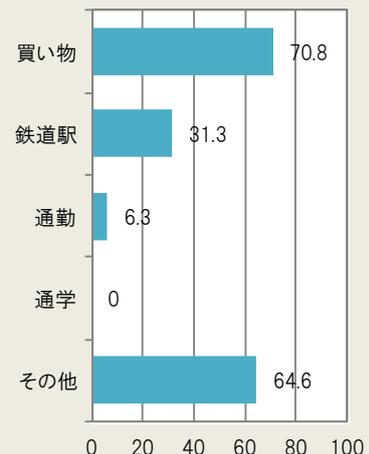
10~30歳代(85件)



40~50歳代(166件)



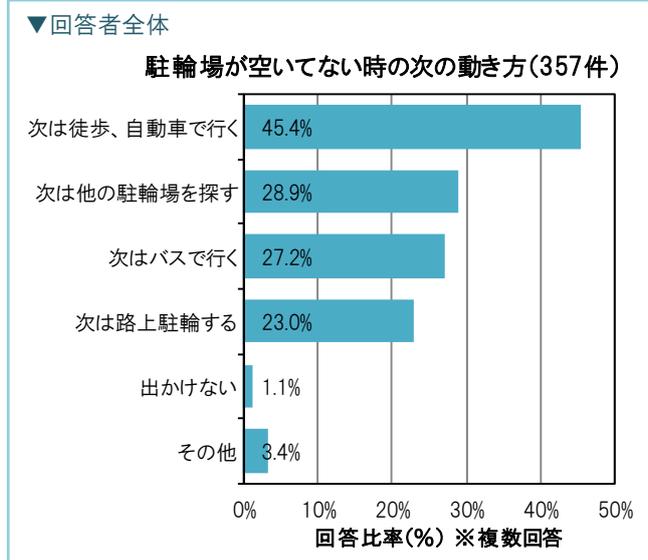
60歳代以上(96件)



3. 「とめる」について

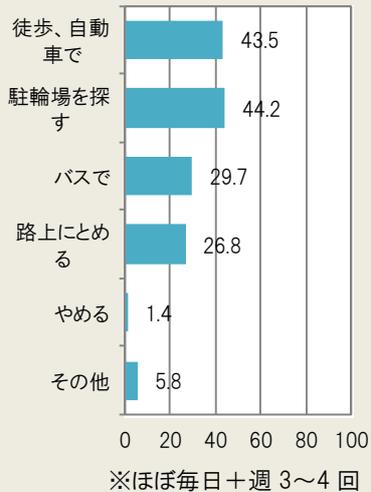
①駐輪場が空いていない時の「次の動き方」

- 一度、駐輪場に空きが無い状態を経験した後の次の動き方として、**徒歩や自動車に転換する傾向**が高くなっています。
- 代替手段として「バスで行く」回答は27%であり、「他の駐輪場を探す」「路上駐輪する」と同程度になっています。
- 自転車利用頻度別では、よく使う人は「**他の駐輪場**」を、たまに使う人は「**徒歩、自動車**」を選ぶ回答が多くなっています。
- 年齢層別では、**高齢層で「バスで行く」**を選ぶ回答が増えています。

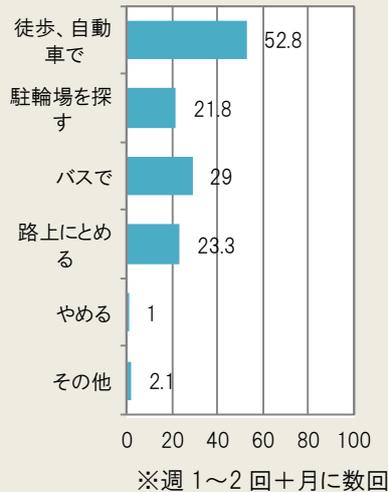


▼普段の自転車利用の頻度別

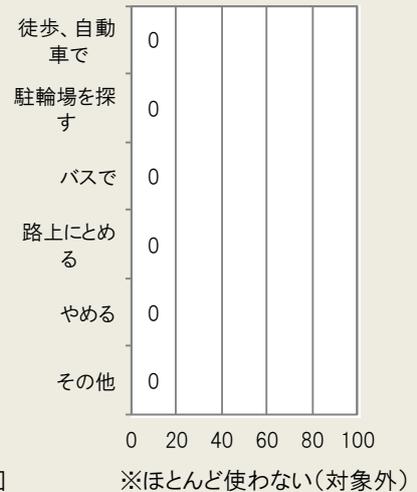
①よく使う(138件)



②たまに使う(193件)

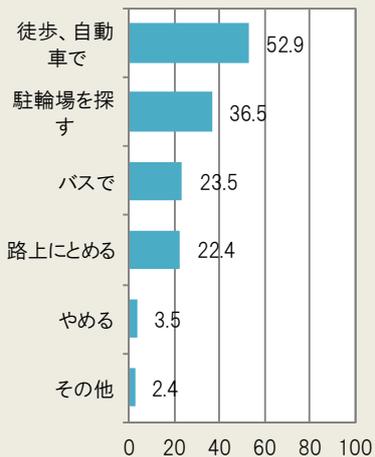


③使わない(-件)

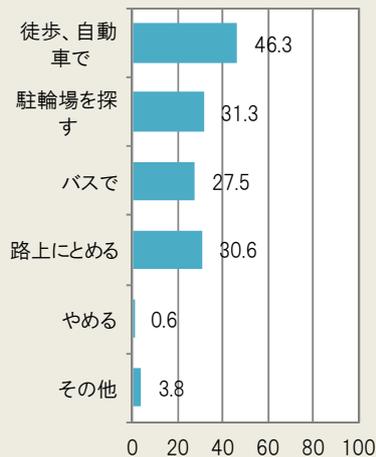


▼年齢階層別

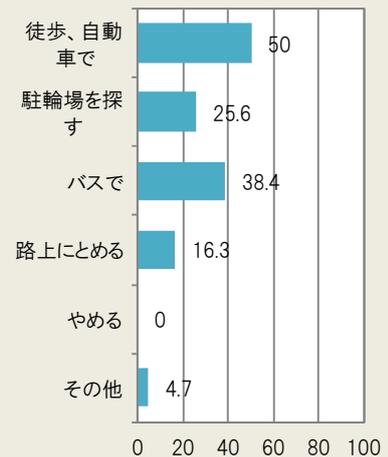
10~30歳代(85件)



40~50歳代(160件)

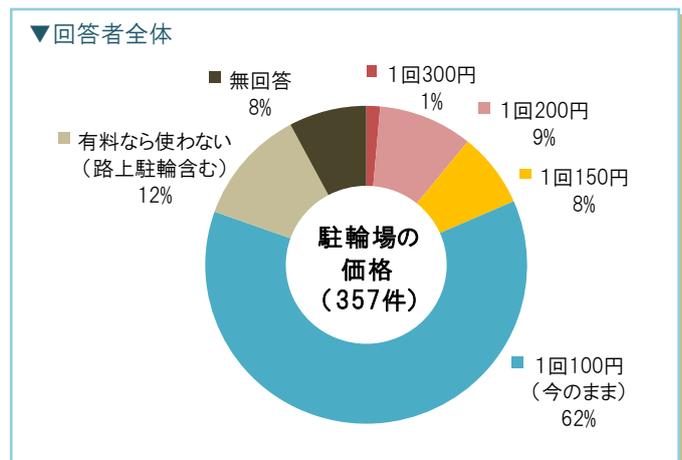


60歳代以上(86件)

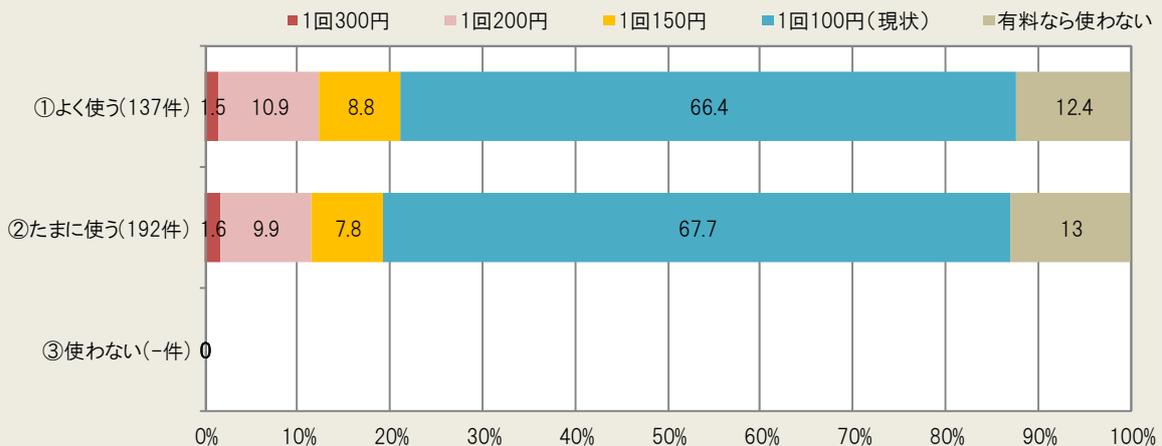


② 「駅近くの必ずとめられる駐輪場」の価格設定

- 「駅の近くで、必ずとめることができる」という駐輪場の条件に対して、価格設定を聞いたところ、**今の「1回100円」を維持する回答が62%**を占めています。
- 今後、駐輪料金改定に当たっては、今のままの料金を望む意見が多い中で、料金改定の根拠と十分な説明を行うことが必要です。
- 自転車の利用状況や年齢層では大きな違いは見られませんが、**若干若い世代で「有料なら使わない」とする意見が多くなっています。**

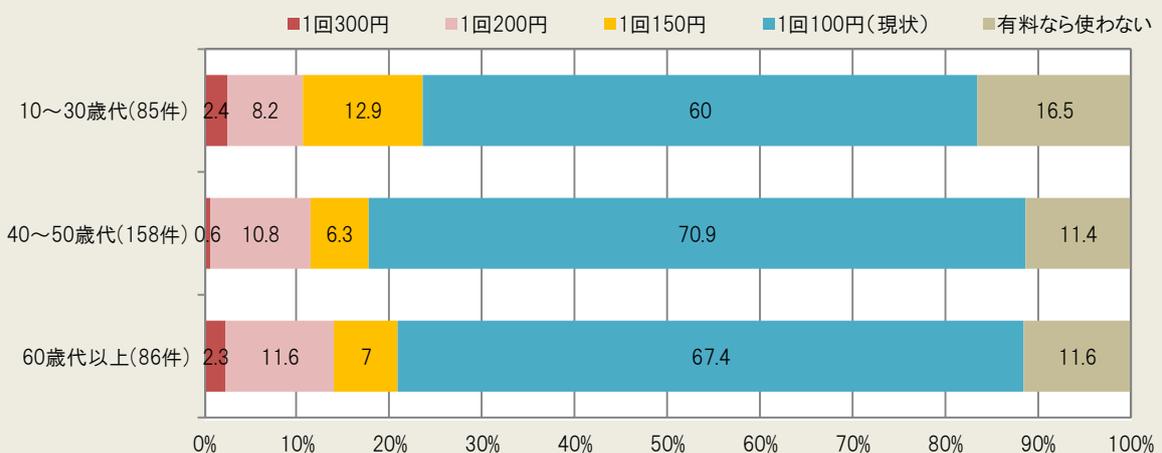


▼普段の自転車利用の頻度別



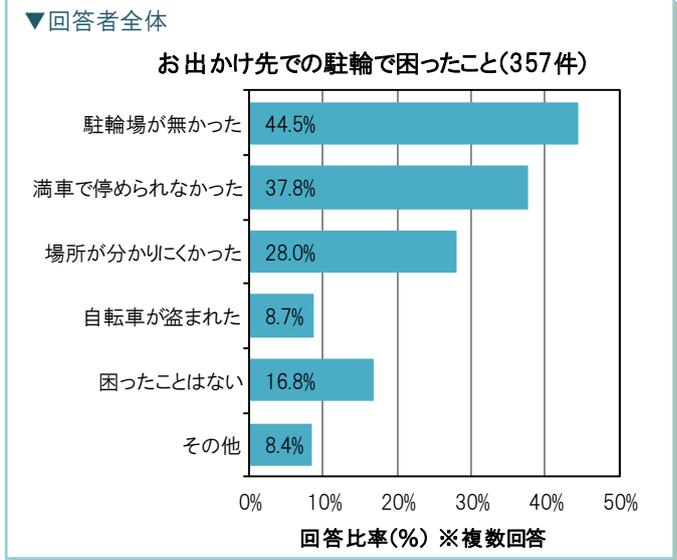
※①よく使う:ほぼ毎日+週3~4回 ②たまに使う:週1~2回+月に数回 ③使わない:ほとんど使わない(対象外)

▼年齢階層別

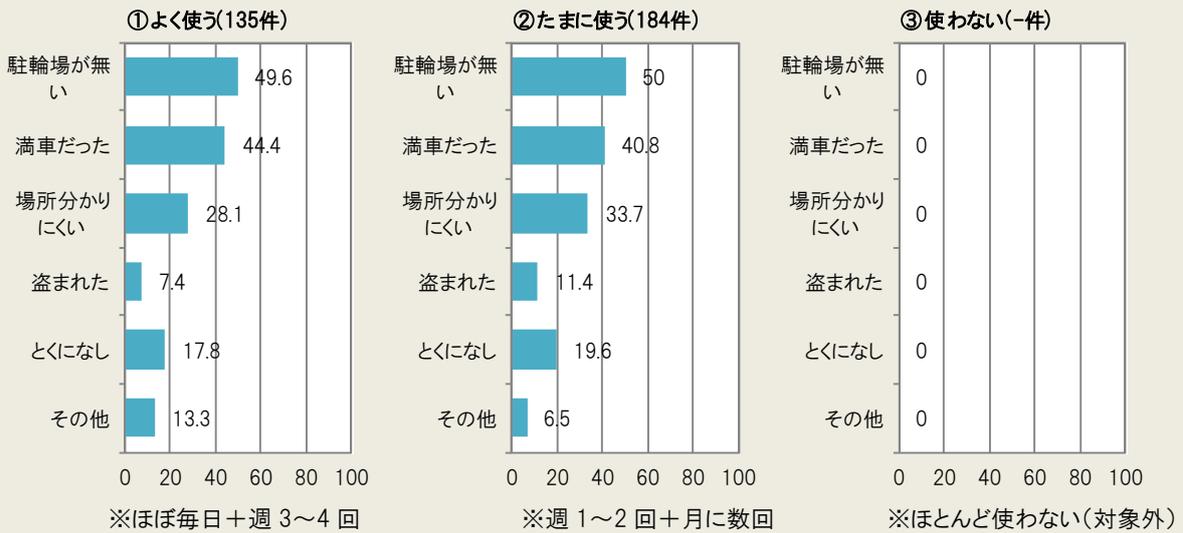


③お出かけ先の駐輪で困ったこと

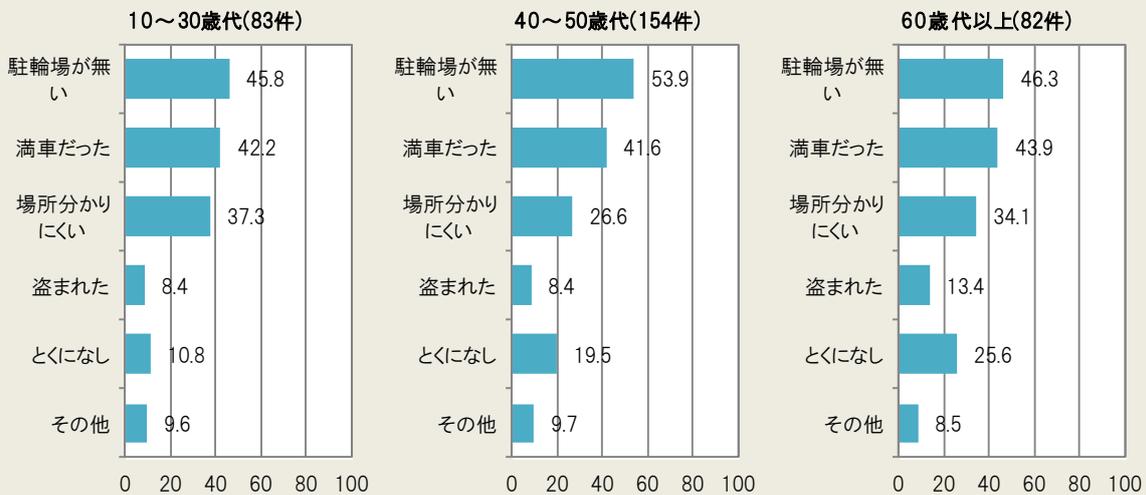
- お出かけ先の駐輪場で困ったこととして、「駐輪場が無かった」ことが46%と最も多く、次いで「満車でとめられなかった」ことが38%です。
- 自転車の利用頻度や年齢層別には大きな違いは見られません。



▼普段の自転車利用の頻度別



▼年齢階層別

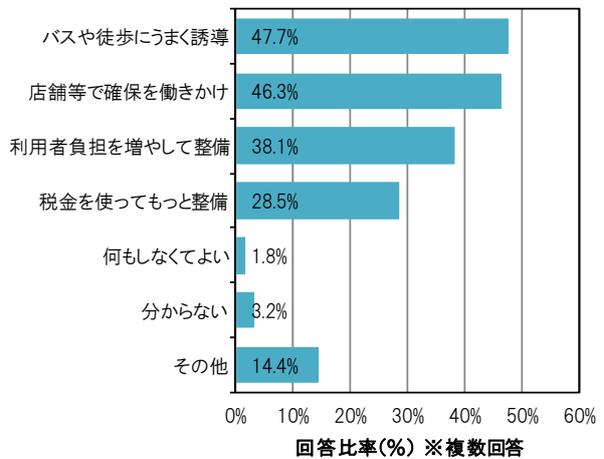


④駐輪場が不足する場所の解消の考え方

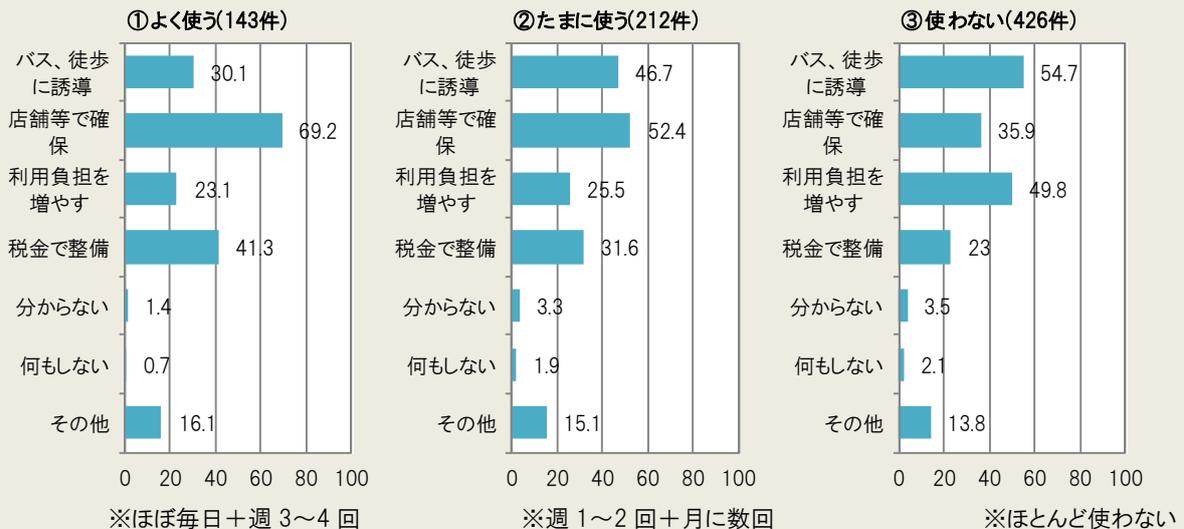
- 駐輪場が不足する現状に対して、解消するための方法を聞いたところ、「バスや徒歩に誘導」「店舗等で確保」が多くなっています。
- ただし、自転車の利用状況別では、**よく使う、たまに使う人は「店舗等で確保」「税金で整備」**することを求めており、**普段あまり使わない人は「バス・徒歩に誘導」「利用者負担を増やして整備」**することを求めるなど、差異がみられます。
- **利用状況により整備に対する負担の考え方が異なる**ことを踏まえた、今後の駐輪施設整備の進め方を検討することが必要です。

▼回答者全体

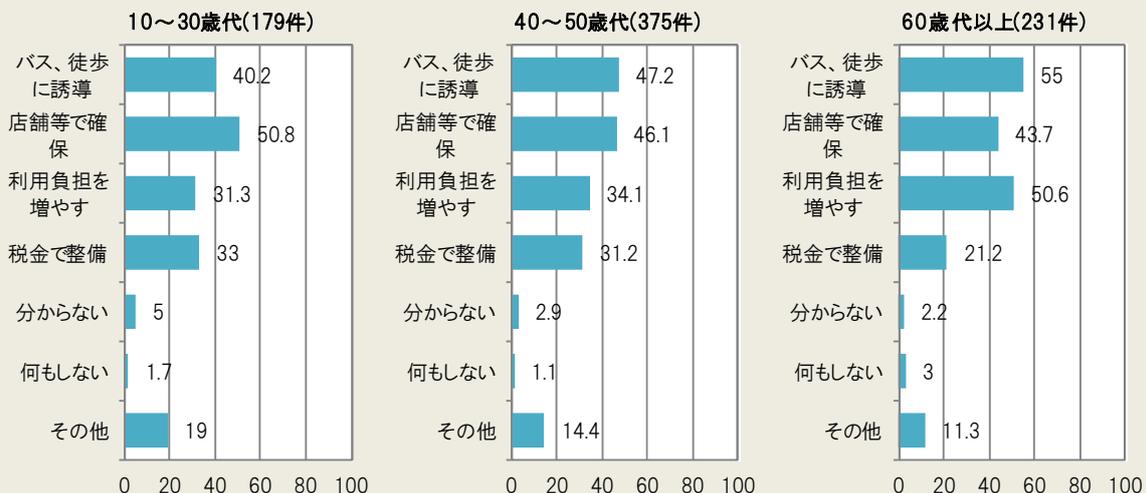
駐輪場が足りない状況の解消のしかた(789件)



▼普段の自転車利用の頻度別



▼年齢階層別

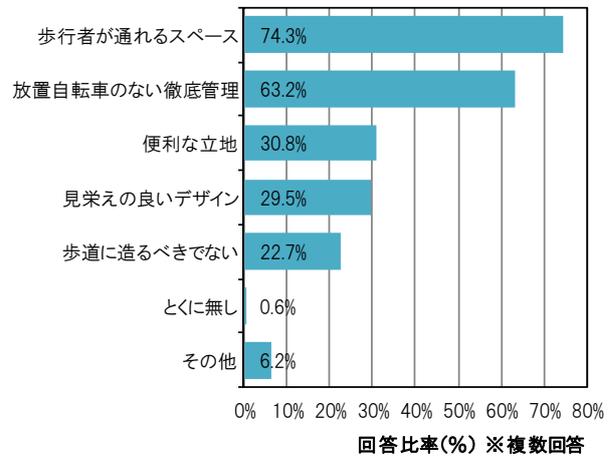


⑤歩道上に駐輪施設を設けるときの留意点

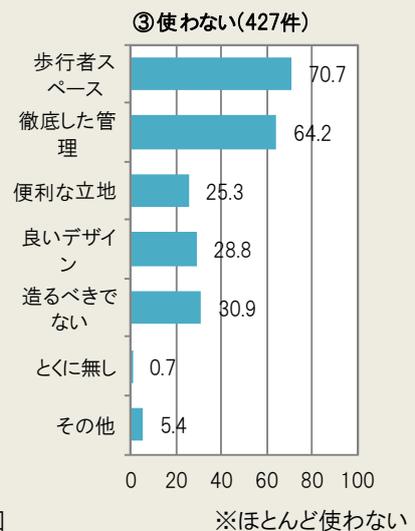
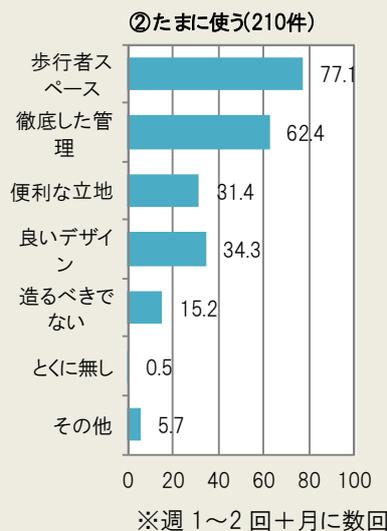
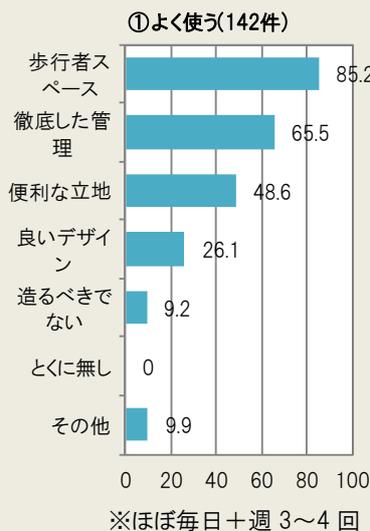
- 歩道上に駐輪施設を設ける際は、「**歩行者が通れるスペース**」と「**放置自転車の徹底管理**」が求められています。
- 普段自転車をよく使う人は「**便利な立地**」を求める意見が多い一方で、普段**あまり使わない人の場合**、「**造るべきでない**」と考える人も多くなる傾向があります。
- また**高齢層**では、他の年代に比べて、放置自転車のない徹底した管理、良いデザインの回答が多くなっており、「**まちなみ、景観のことを気にする人も多い**」と推定されます。

▼回答者全体

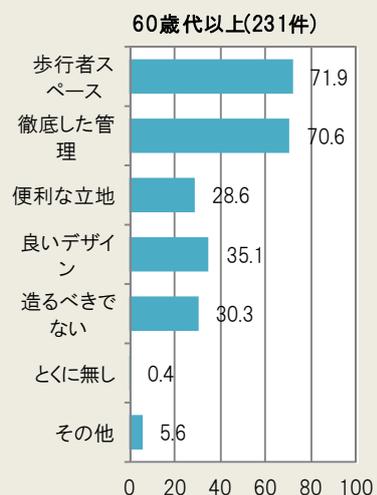
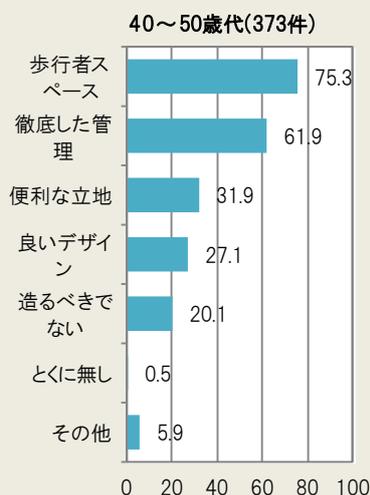
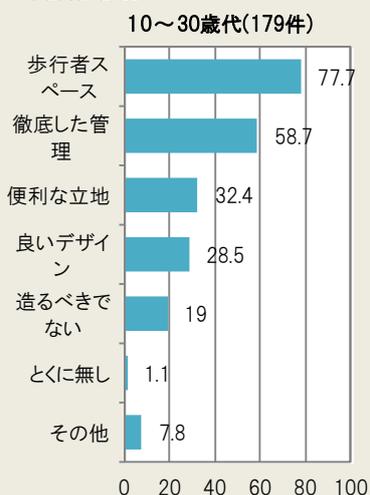
歩道上に駐輪場をつくる場合の配慮点(789件)



▼普段の自転車利用の頻度別



▼年齢階層別



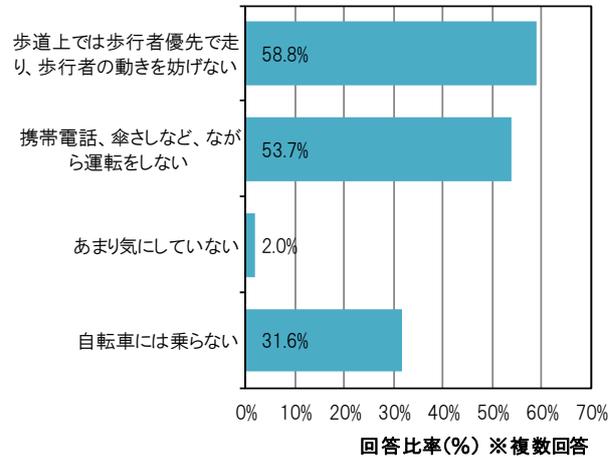
4. 「はしる」について

① 自転車に乗る時に守るようにしている交通ルール

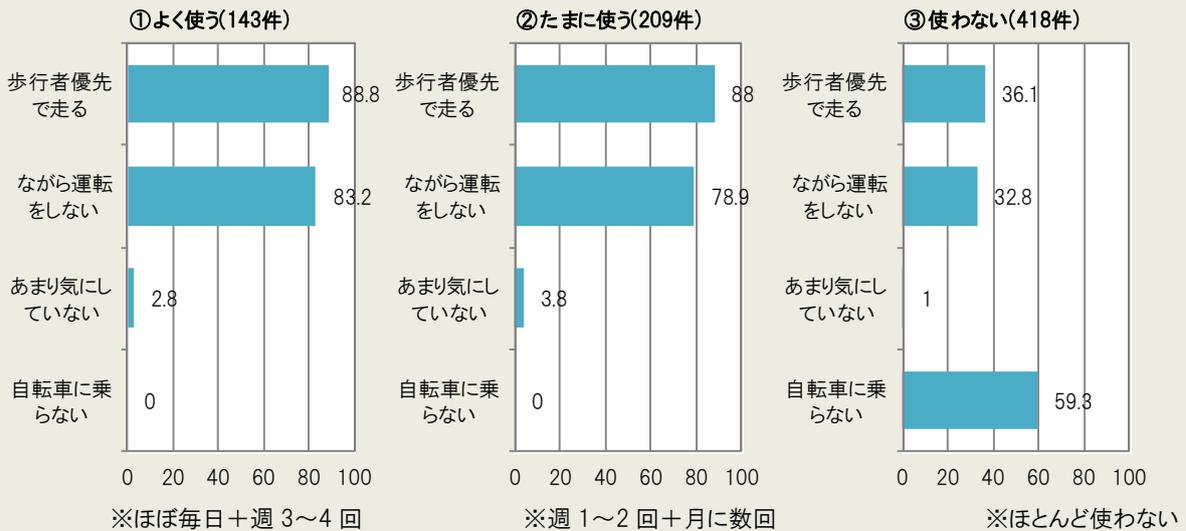
- 全体の約 5~6 割が守るようにしている交通ルールは、「歩道上での歩行者優先」と「ながら運転をしない」ことでした。
- 一方で、交通ルールを「あまり気にしていない」とする回答者も 2%と比率は少ないものの、わずかながらに存在しています。
- 普段自転車を使わない人を除くと、自転車の利用状況や年齢層での大きな差は見られません。

▼回答者全体

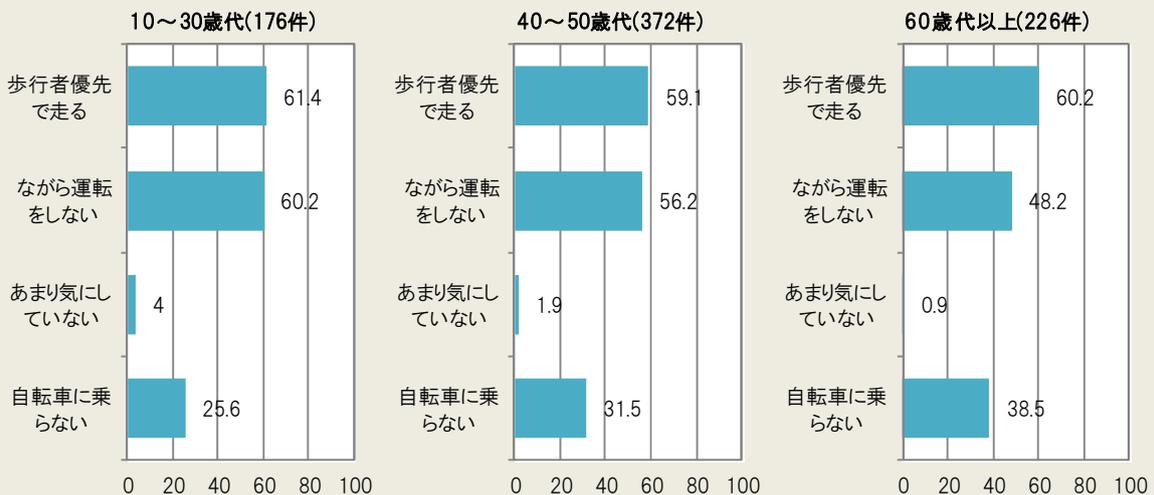
自転車に乗る時に守るようにしている交通ルール(789件)



▼普段の自転車利用の頻度別

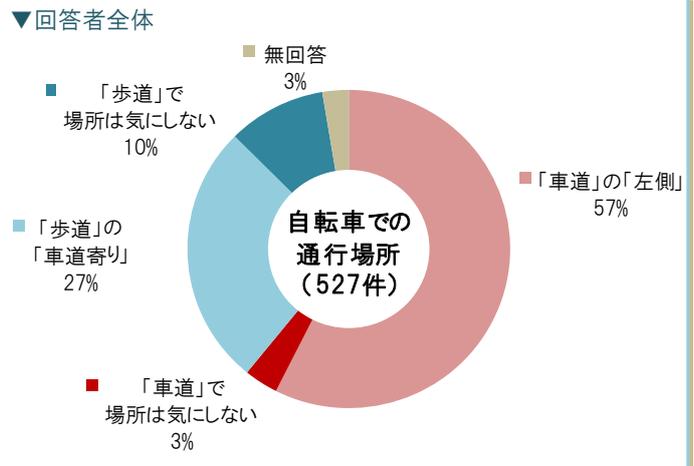


▼年齢階層別

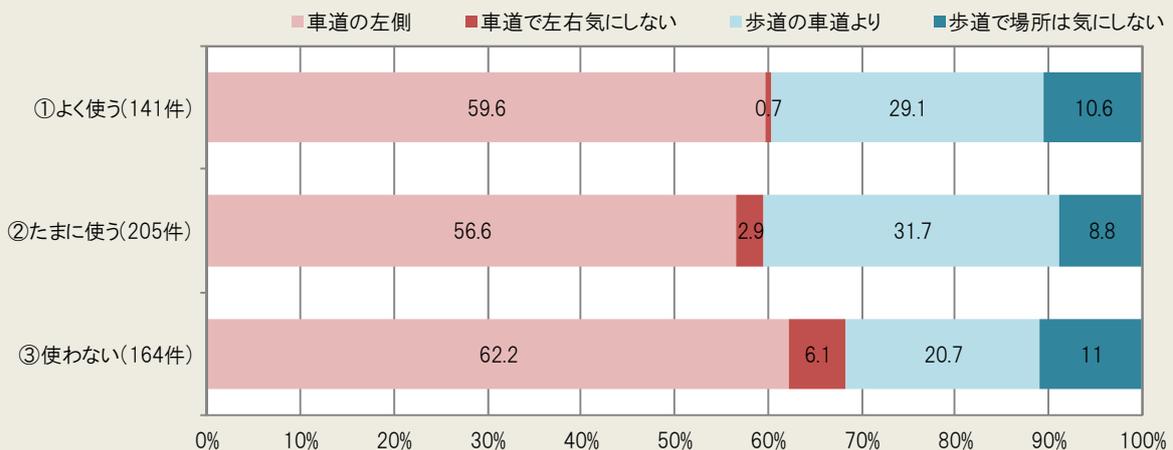


② 普段の道路の通行する場所

- 自転車の通行場所を聞いたところ、交通ルール通り「車道の左側」を通行する人は**57%**と半数以上を占めており、歩道を通行する場合のルール*にあった「歩道の車道より」は**27%**と、車道もしくは歩道の交通ルールを守っている人は合計 84%でした。
※歩道通行は「歩道通行可」を前提条件とする
- 自転車の利用頻度や年齢層による明確な違いはありませんが、10~30 歳代の**若い世代**が「歩道で場所は気にしない」割合が多くなっています。

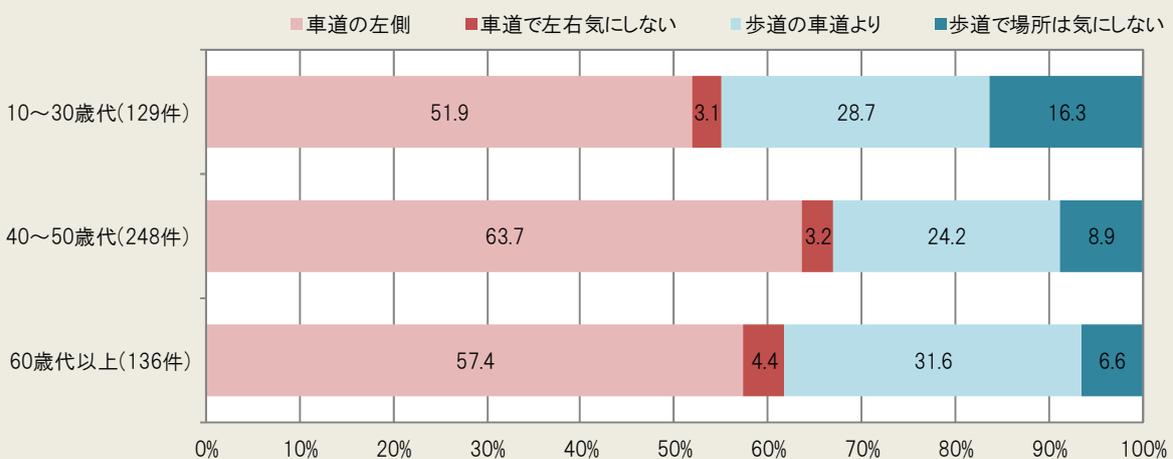


▼普段の自転車利用の頻度別



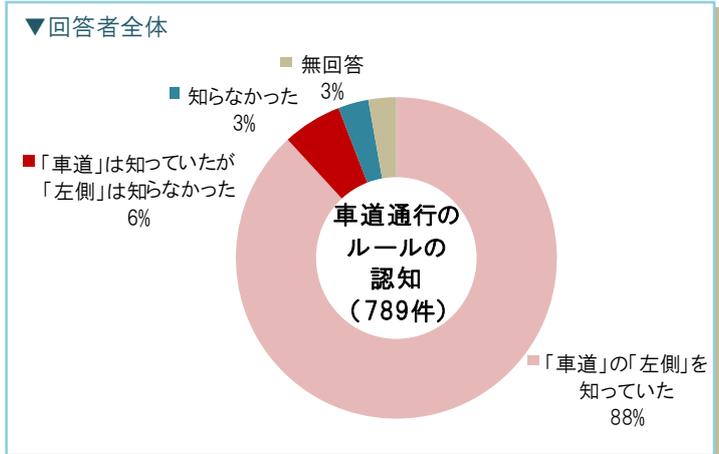
※①よく使う:ほぼ毎日+週 3~4 回 ②たまに使う:週 1~2 回+月に数回 ③使わない:ほとんど使わない

▼年齢階層別

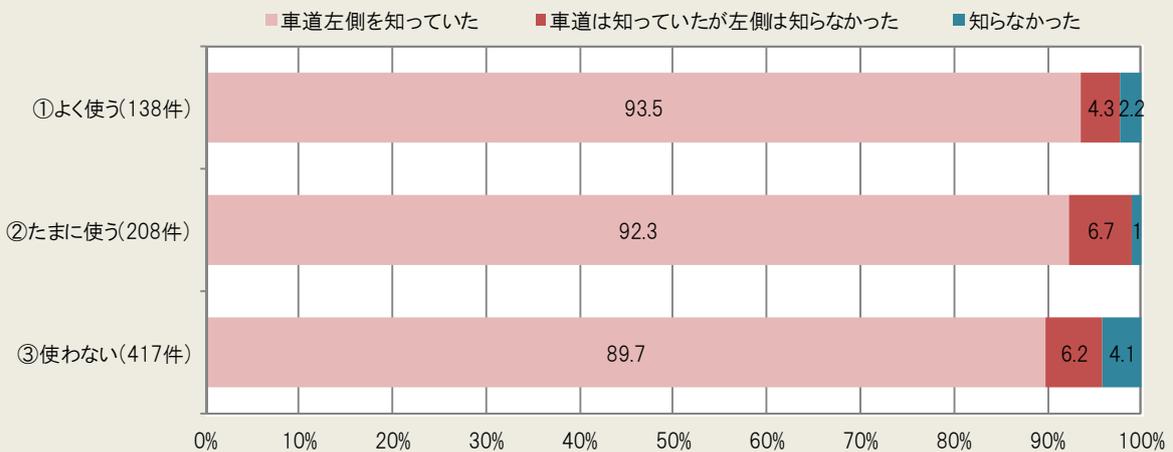


③ 「車道」を通る時の交通ルールの認知度

- 車道を通る際の「車道の左側」の交通ルールについては、88%が知っていると回答しており、高齢層になるほど認知状況が高くなっています。
- 一方で、車道は認識しつつも「左側」を通行することを知らなかった、車道逆走の可能性のある層が6%を占めており、とくに若い世代の認知状況が十分でない状況です。

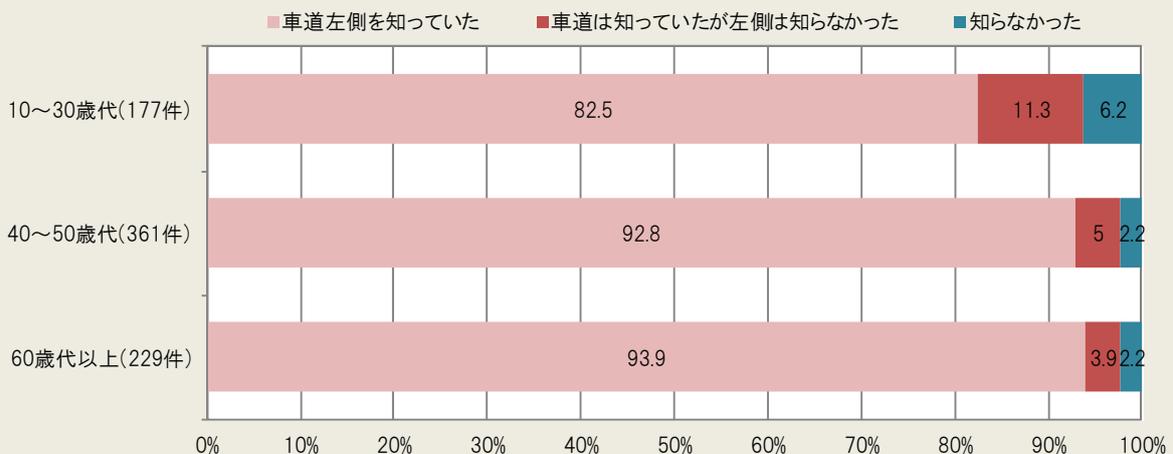


▼普段の自転車利用の頻度別



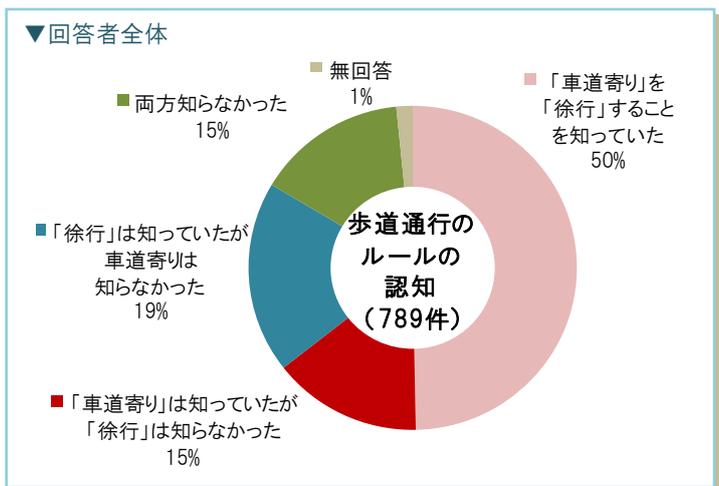
※①よく使う: ほぼ毎日+週3~4回 ②たまに使う: 週1~2回+月に数回 ③使わない: ほとんど使わない

▼年齢階層別

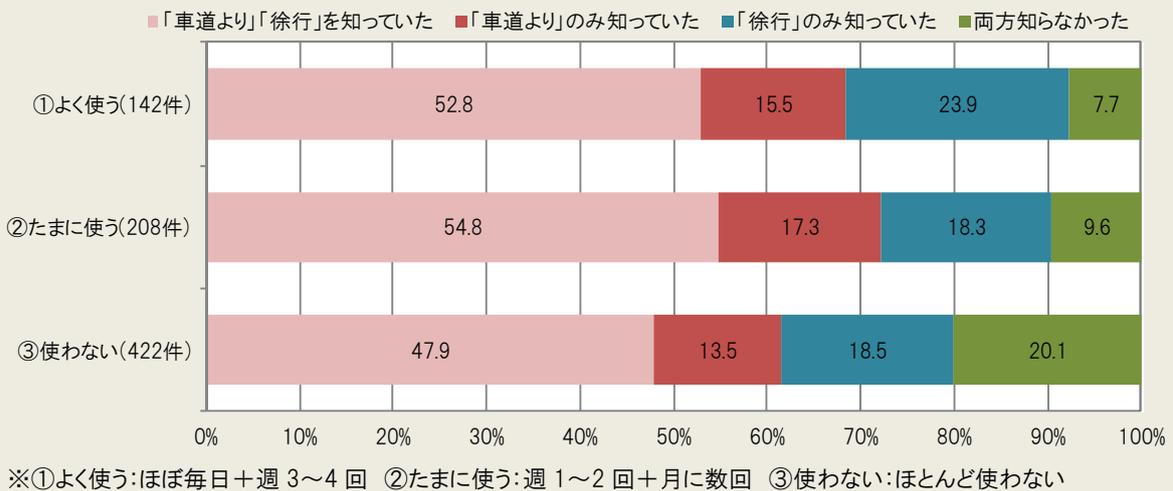


④ 「歩道」を通る時の交通ルールの認知度

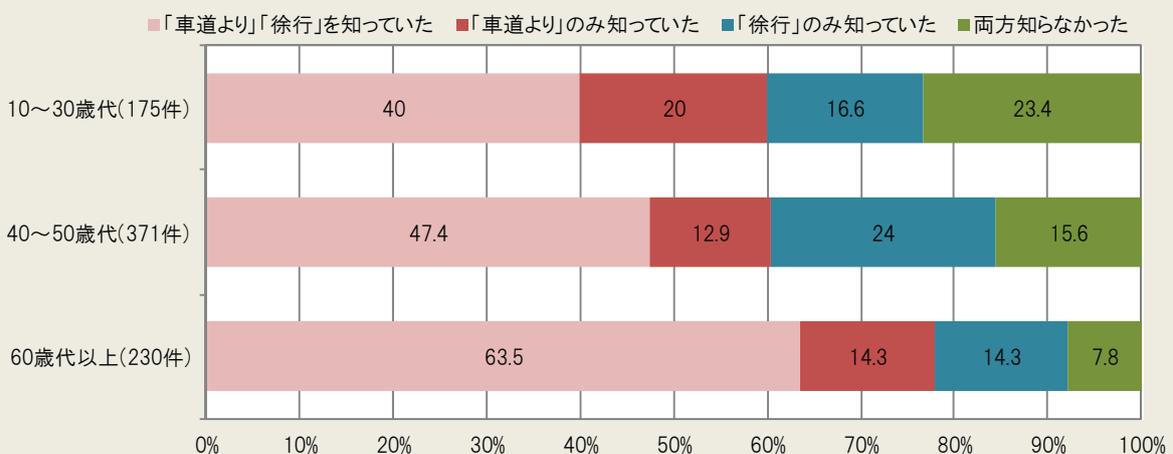
- 歩道を通行するときの「車道より」を「徐行」する2つの交通ルールについては、両方とも知っている人が50%でした。
- 「徐行」に関しては、30%（徐行のみ知らない+両方知らない）が認知しておらず、とくに、**普段あまり使わない人や、若い世代で認知状況が十分でない**ようです。
- なお、車道通行時のルールと同様、**高齢層になるほど「車道よりを徐行する」正しい交通ルールを認知**しています。



▼普段の自転車利用の頻度別



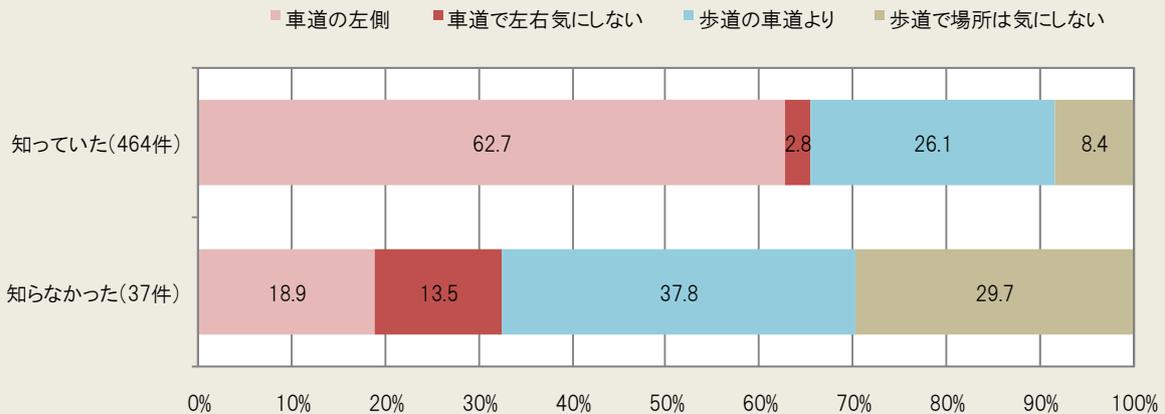
▼年齢階層別



⑤交通ルールの認知度と通行場所

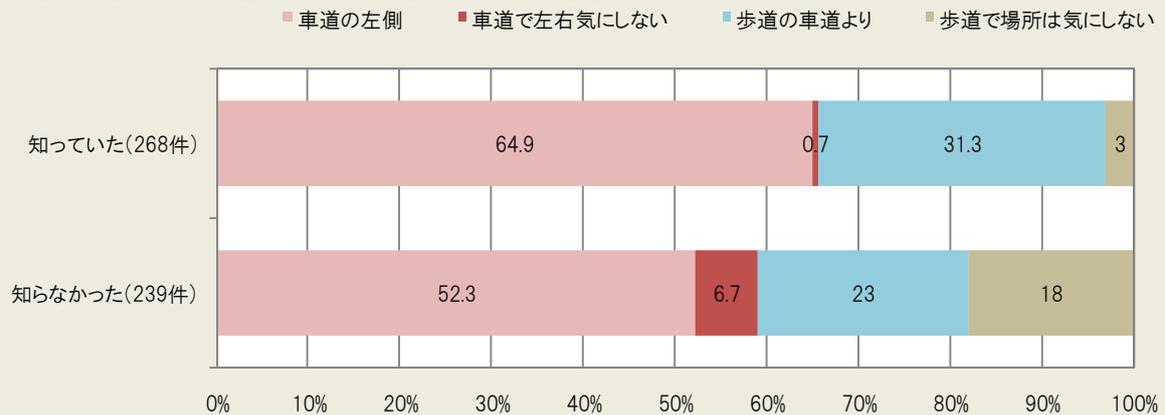
- 車道と歩道の交通ルールの認知度と、実際の通行場所との関係を整理します。
- 「車道の左側」を正しく認知している人では、通行する場所も「車道の左側」が多く、また歩道を通行する人も「車道寄り」を通行しています。一方知らなかった人の多くは、「歩道の車道より」を通行する他、「歩道で場所は気にしない」人も多くなっています。
- 「歩道通行時は車道寄りを徐行」の認知度と通行場所の関係は相関関係が薄く、認知している方もしていない方も「車道の左側」を通行する人が多くなっています。

▼車道の交通ルール「車道の左側」の認知度と実際の通行場所



※知らなかった:「車道は知っていたが左側は知らなかった」+「知らなかった」の合計値

▼歩道の交通ルール「車道寄りを徐行」の認知度と実際の通行場所



※知らなかった:「徐行は知らなかった」「車道寄りでは知らなかった」「両方知らなかった」の合計値

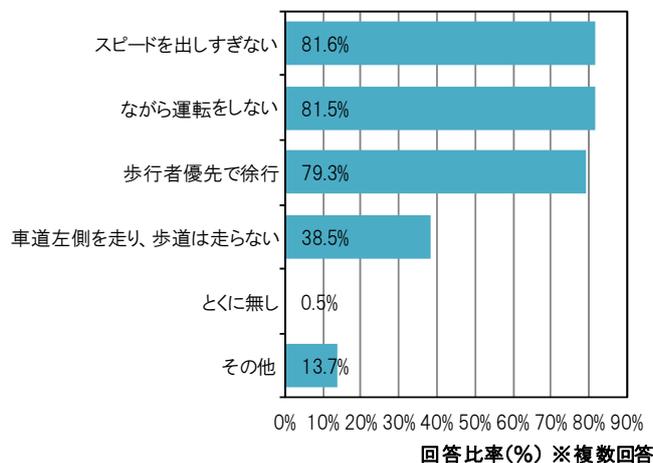
5. 「まもる」について

① 「歩行者の立場」から自転車に守ってほしいこと

- 自転車に対して、「歩行者の立場」で守ってほしい交通ルールを聞いたところ、「**スピードを出しすぎない**」「**ながら運転をしない**」「**歩行者優先で徐行**」の3つで、全体の8割が守ってほしいと考えています。
- この傾向は、普段の自転車利用や年齢層を問わず見られます。
- また、**普段使わない人の場合、「自転車は車道」**を守って欲しいと考える人の比率が高くなっています。

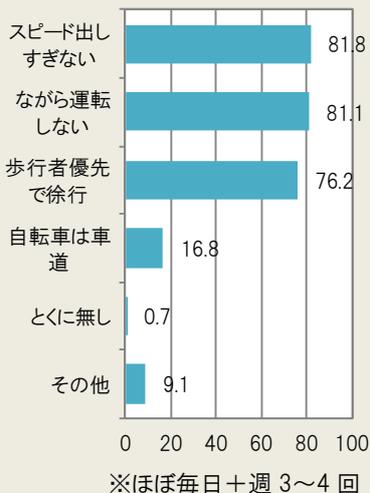
▼回答者全体

歩行者として自転車に守ってほしいこと(789件)

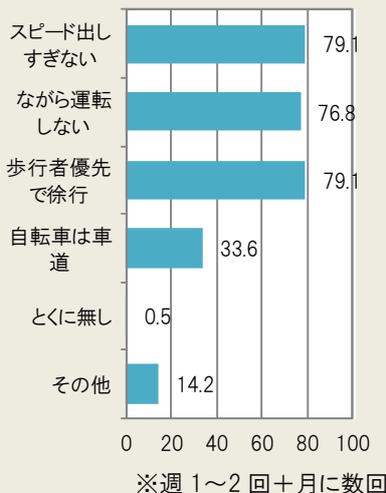


▼普段の自転車利用の頻度別

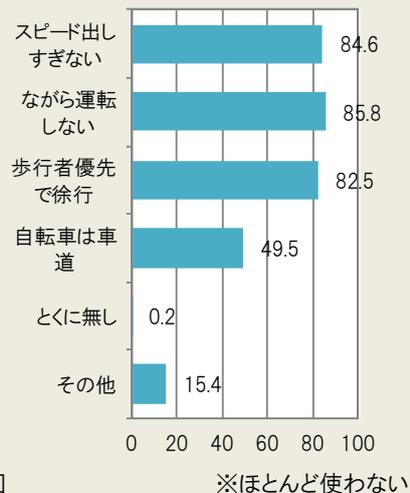
①よく使う(143件)



②たまに使う(211件)

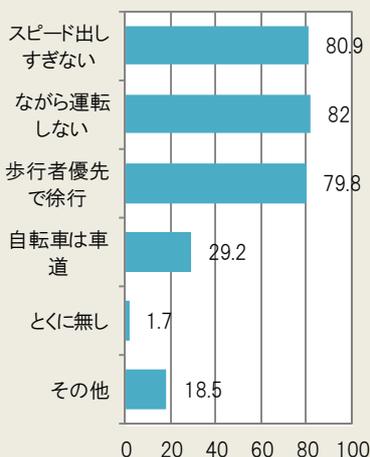


③使わない(422件)

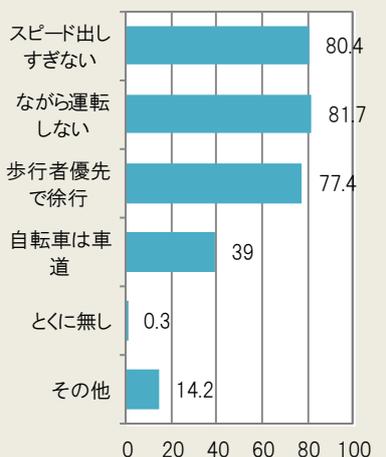


▼年齢階層別

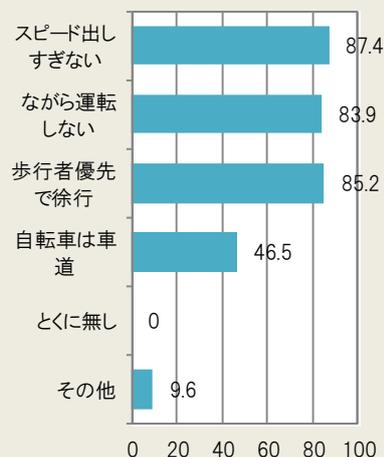
10~30歳代(178件)



40~50歳代(372件)



60歳代以上(230件)

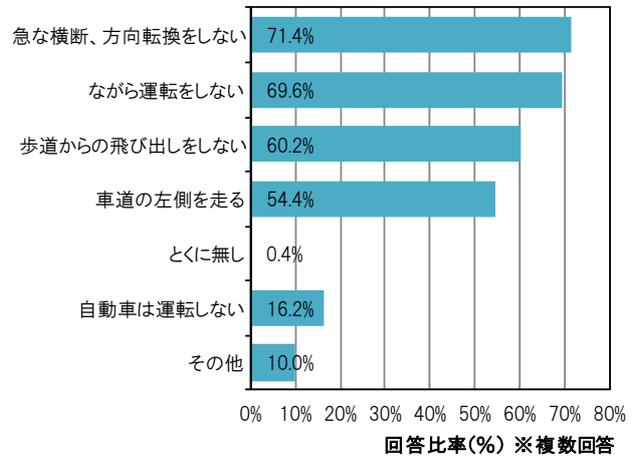


②「自動車の立場」から自転車に守ってほしいこと

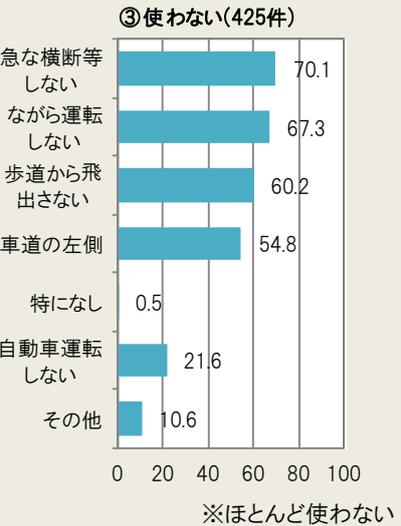
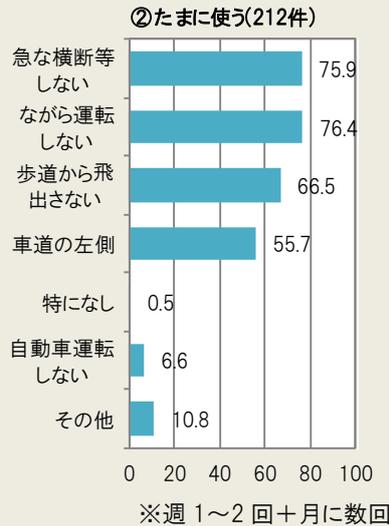
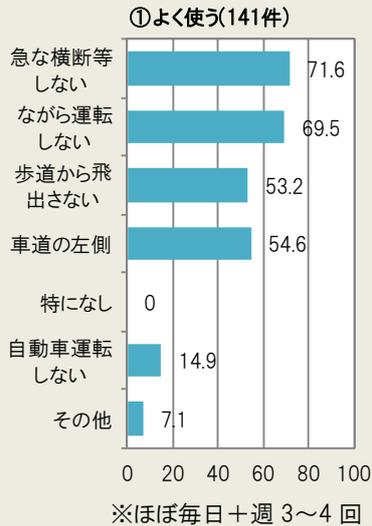
- 自転車に対して、「自動車の立場」で守ってほしい交通ルールを聞いたところ、「**急な横断、方向転換をしない**」「**ながら運転をしない**」の2つで、全体の7割が守ってほしいと考えています。
- 自転車の利用頻度や年齢層では大きな違いは見られません。

▼回答者全体

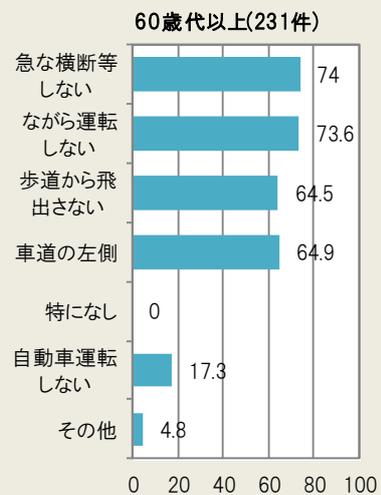
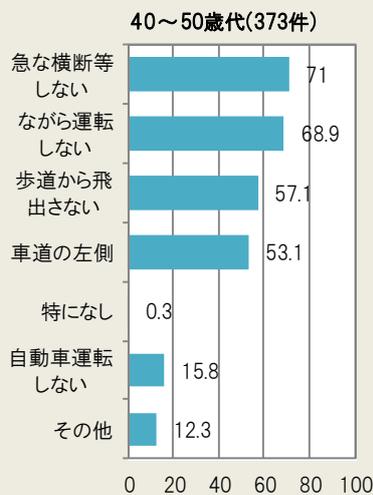
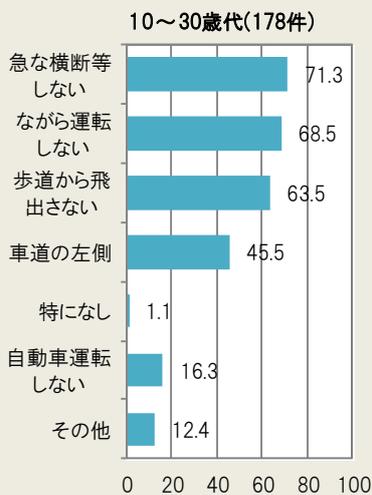
自動車として自転車に守ってほしいこと(789件)



▼普段の自転車の利用の頻度別



▼年齢階層別

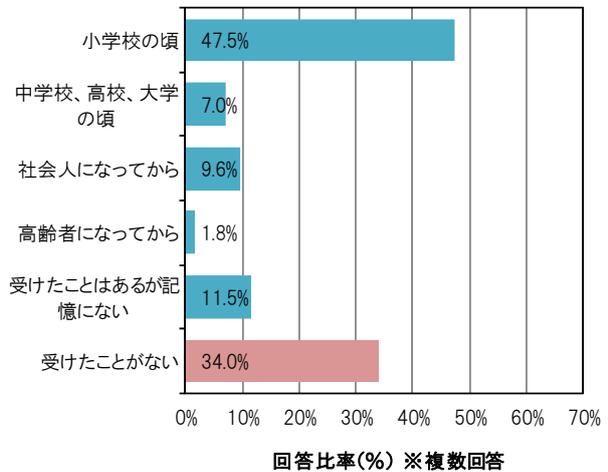


③自転車の交通ルール等を教わる機会

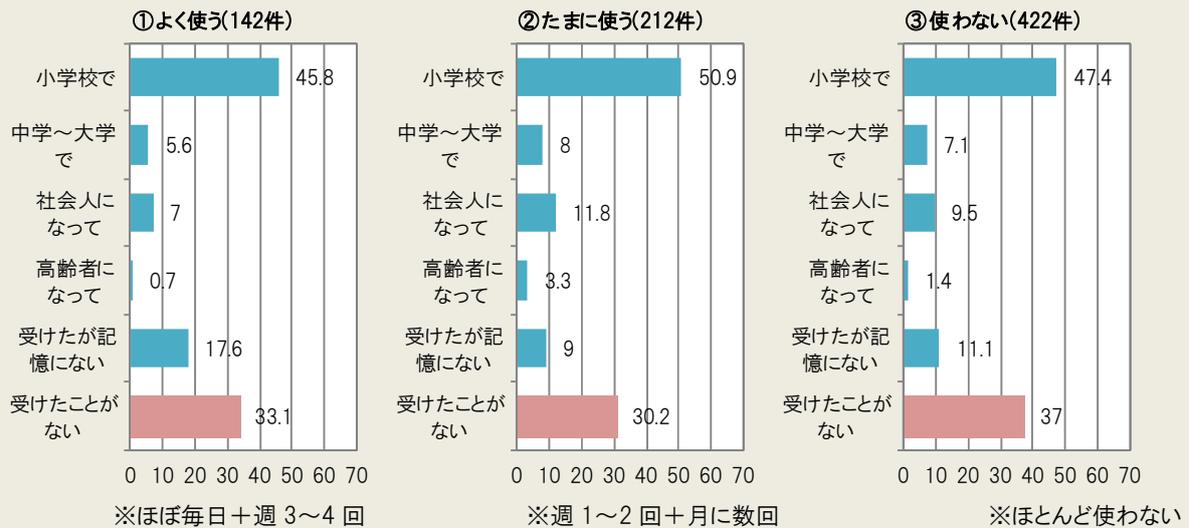
- 自転車の交通ルールは、小学校の頃に受けた回答が48%と最も多く、その他の時期に受けたことはあまりない結果です。
- また **34%が「受けたことがない」と回答**しており、とくに60歳代以上の**高齢層で受けた事がない人が多くなっています**。
- 様々なタイミングで交通ルールの認知と遵守の意識を高める機会を設けることが必要です。

▼回答者全体

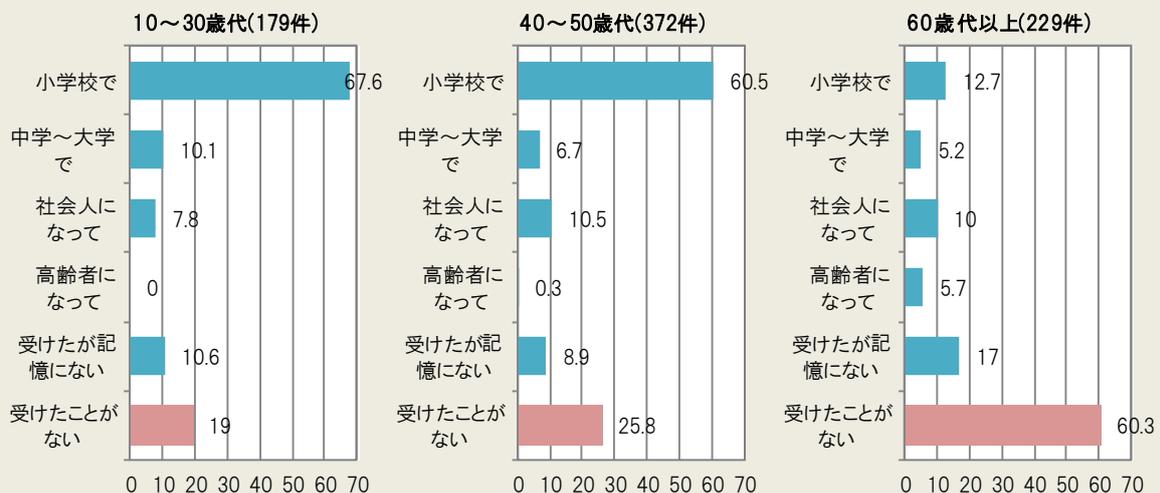
交通ルールを教わる機会(789件)



▼普段の自転車利用の頻度別



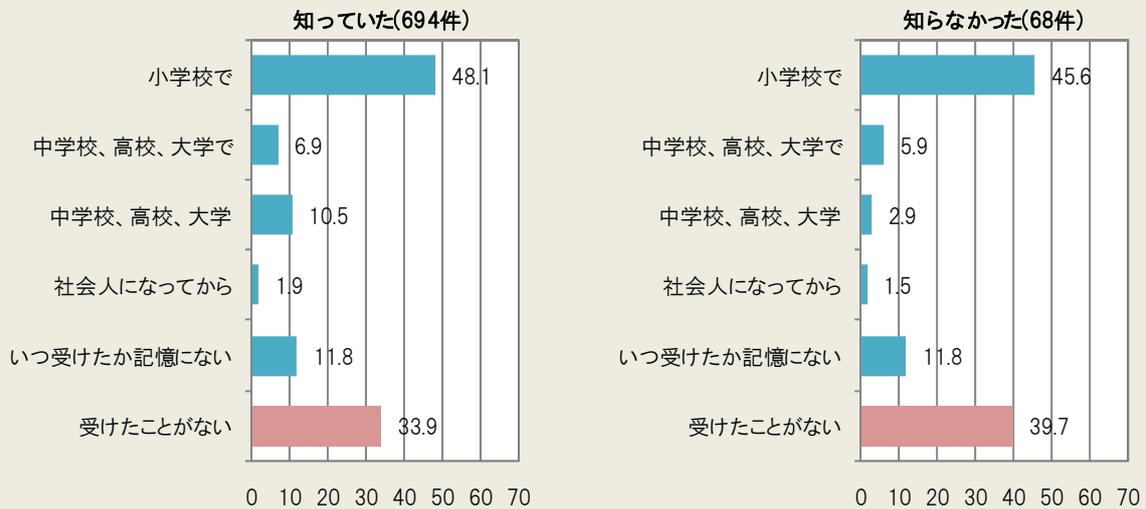
▼年齢階層別



④交通ルールの認知度と学んだ機会

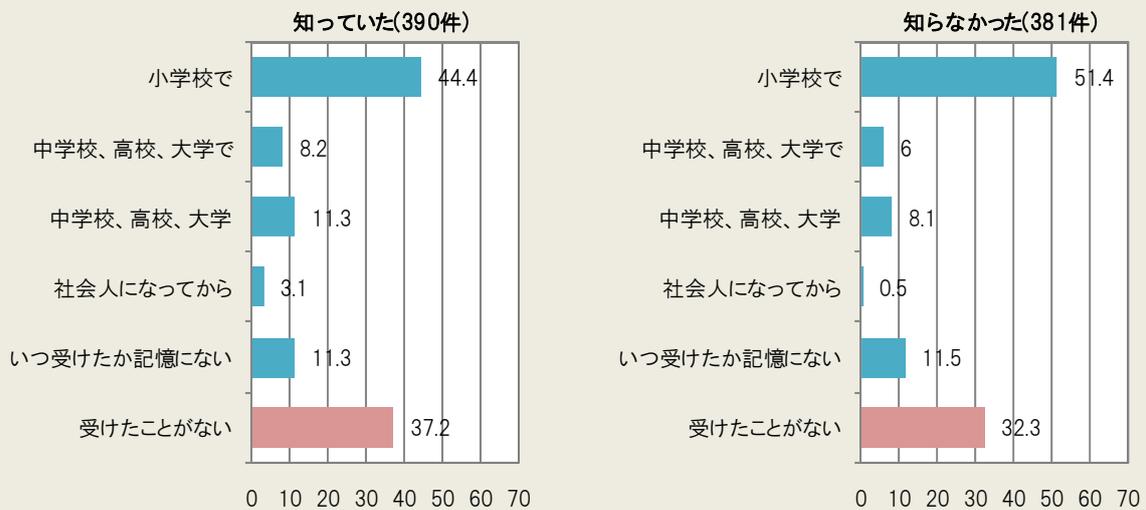
- 車道、歩道の交通ルールの認知度と、交通ルールを学んだ機会については、認知度と学んだ機会について明確な関連性は見られません。

▼車道の交通ルール「車道の左側」の認知度と学習の機会



※知らなかった:「車道は知っていたが左側は知らなかった」+「知らなかった」の合計値

▼歩道の交通ルール「車道寄りを徐行」の認知度と学習の機会



※知らなかった:「徐行は知らなかった」「車道寄りには知らなかった」「両方知らなかった」の合計値

6. 自由意見

- 自由意見として、日頃から疑問に感じていることなどを聞いたところ、回答者 789 人中、483 人※が回答しています。

※「とくに無し」5名除く

- 意見では、自転車への不満として、交通ルールの取締強化、厳罰化などの意見が多く見られました。

- また、交通ルールへの疑問として、車道通行時の交差点での右左折や、一方通行、細い道路での通り方などが見られました。

▼回答者全体

大項目	小項目	件数(複数回答あり)
自転車への不満について	取締強化、厳罰化など	93
	自分勝手、マナー違反など	54
	歩行者優先への配慮など	48
	スピード出しすぎの問題	35
	ながら運転の問題	28
	信号無視等の問題	22
	車道逆走の問題	16
	急な飛び出し等の問題	13
	無灯火の問題	13
交通ルールについて	ルールの徹底・学ぶ機会の不足など	52
	交通ルールへの疑問	34
自転車通行環境整備について	車道通行不安(歩道安全)	38
	自転車通行空間整備の不十分さ	32
	道路整備全般への不満	20
	路上駐車の問題	11
	交通規制に対する不満	5
	自動車利用者の理解	4
駐輪環境整備について	駐輪場の整備	15
	放置自転車の問題	6
	その他	36

▼「取締強化、厳罰化など」に関する意見

- ・ 危ない自転車は取り締まるべき。罰則の強化が必要
- ・ 警察による取り締まりを強化する
- ・ 講習会の参加の義務付け。免許制の導入をするべき
- ・ 乗る人の登録制かつ講習会の参加義務化
- ・ 自転車にも自賠責保険の設定が必要ではないか
…など

▼「自分勝手、マナー違反など」に関する意見

- ・ 子供やお年寄りの人で無条件で歩道を走っていいと勘違いしている人が多い
- ・ 自分のことだけで周囲を考えていない
- ・ 自転車に乗る時は常にヘルメットをかぶってほしい。
- ・ 軽車両という意識のない人がほとんど
…など

▼「歩行者への配慮など」に関する意見

- ・ 自転車が我が物顔で歩道を走っている
- ・ 歩行者が邪魔だとばかりにベルを鳴らす人がいる
- ・ 突如後ろからベルを鳴らしてくる、前を急に横切る
- ・ 歩道の通行は禁止してほしい。車道を安全に通行するよう徹底すべき。
…など

▼「歩行者への配慮など」に関する意見

- ・ スピードの出し過ぎ。特に小中高生。
- ・ 下り坂を勢いよく走ってくる自転車に危険を感じる。
- ・ スピードを出した自転車が車の脇をすり抜ける時怖い
- ・ 住宅街などでスピードを出す自転車をみると怖い。
- ・ 子供を乗せてスピードを出す人がいる
…など

▼「ルールの徹底・学ぶ機会の不足」に関する意見

- ・ どこで交通ルールを学べるのか分からない。
- ・ ママチャリ購入時、しっかりと店側が乗車の規則をお知らせするのが必要。
- ・ 学校や地域でもっと自転車の交通ルールの講習をしたほうが良い
- ・ 購入時からルールブックを使用しての周知活動などしてほしい
…など

▼「交通ルールへの疑問」に関する意見

- ・ 車道を走るときの交差点での右折の仕方
- ・ 歩車分離式の交差点での自転車の取扱いについて。
- ・ 一方通行の逆走は出来るのかどうか
- ・ 自転車が通ることが可能な歩道が良く分からない
- ・ ベルの使い方。ベルを鳴らすのは控えているが、時々「鳴らしてくれないとわからない」と言われる。
- ・ 横断歩道を渡った対向車線側に目的地があったときに遠回りすべきか右側通行すべきか
- ・ 歩道のない道路での自転車の走り方
…など

■参考 e-アンケート「自転車の使い方に関するアンケート」設問項目

Q1 あなたは普段から自転車を利用していますか。(単一選択)

- ア ほぼ毎日(週に5回以上)
- イ 週に3~4回程度
- ウ 週に1~2回程度
- エ 月に数回程度
- オ ほとんど使わない(Q6へお進みください)

Q2 Q1でア~エを選んだ方にお聞きます。どんなときに自転車を使いますか。(複数選択可)

- ア 鉄道駅・鉄道駅周辺に行くとき(通勤、通学、買い物等含めて)
- イ 通勤するとき(直接会社まで)
- ウ 通学するとき(直接学校まで)
- エ 買い物に行くとき(直接お店まで)
- オ 上記以外(病院、塾、公園、サイクリングなど)

Q3 Q1でア~エを選んだ方にお聞きます。

あなたが「自宅から数キロ以内にある鉄道駅・鉄道駅周辺に自転車で行く」ことを想定してお答えください。使おうと思っていた駐輪場が満車で使えなかった場合、次に駅・駅周辺に行くとき、どのような行動をとると思いますか。(複数選択可)

- ア 次は、自転車をやめて、バスで行く
- イ 次は、自転車をやめて、徒歩、自動車で行く
- ウ 次は、駅から離れても、空いている駐輪場を探す
- エ 次は、空いてなければ、やむを得ず路上に放置する
- オ 出かけるのをやめる
- カ その他(簡易自由記載欄あり)

Q4 Q1でア~エを選んだ方にお聞きます。

市営駐輪場は、駅との距離にかかわらずどこでも1回100円程度です。もし、あなたが「自宅から数キロ以内にある鉄道駅・鉄道駅周辺に自転車で行く」場合、駅のすぐ近くに、確実に止められる駐輪場ができたとしたら、いくら程度なら利用したいと思いますか。(単一選択)

- ア 1回300円
- イ 1回200円
- ウ 1回150円
- エ 1回100円(今のまま)
- オ 100円未満でも使わない(放置する場合も含む)

Q5 Q1でア~エを選んだ方にお聞きます。

あなたが買い物などのお出かけ先に自転車で行ったときに、困ったことはありましたか。(複数選択可)

- ア お出かけ先に駐輪場がなかった
- イ 駐輪場が満車で止められなかった
- ウ 駐輪場の場所が分かりにくかった
- エ 自転車が盗まれた
- オ 困ったことはない
- カ その他(簡易自由記載欄あり)

Q6 全員にお聞きます。

鉄道駅周辺の駐輪場が、常に満車状態の地域があります。また、駅前などでの新たな駐輪場用地の確保は、用地買収の価格が高額になったり、ちょうどよい空き地がない場合も多いです。このような駐輪場が足りない状況を解消するのに、どうしたらよいと思いますか。(複数選択可)

- ア 自転車だけでなく、バスや徒歩をうまく使うよう誘導する
- イ 税金を使って、駅前の駐輪場をもっと整備する
- ウ 駐輪料金を値上げして(利用者負担を増やして)、駐輪場の整備費用に充てる
- エ 店舗などが、客用の駐輪場を増やすよう働きかける
- オ 今のまま、何もしなくてよい
- カ 分からない
- キ その他(簡易自由記載欄あり)

Q7 もし、十分な広さのある歩道に駐輪場をつくるとしたら、どのような点に特に配慮すべきだと思いますか。(複数選択可)

- ア 歩行者が通れる十分なスペース
- イ 街並みにあった見栄えの良いデザイン
- ウ 鉄道駅や目的地の目の前の便利な立地
- エ 放置自転車のない徹底した管理
- オ 歩道に駐輪場をつくるべきでない
- カ 特になし
- キ その他(簡易自由記載欄あり)

Q8 ここからは、自転車の交通ルールのことについて、お聞きします。

自転車に乗るとき、特に守るようにしている交通ルールはどれですか。(複数選択可)

- ア 歩道上では歩行者優先で走り、歩行者の動きを妨げない
- イ 携帯電話、傘さしなど、ながら運転をしない
- ウ 交通ルールはあまり気にしていない
- エ 自転車には乗らない

Q9 普段自転車に乗るとき、道路のどこを走っていますか。(単一選択)

- ア 基本的に「車道」の「左側」
- イ 基本的に「車道」で左側、右側は気にしない
- ウ 基本的に「歩道」の「車道寄り」
- エ 基本的に「歩道」で車道寄り、民地寄りは気にしない

Q10 自転車が通行するのは「原則車道の左側を通行する」ということを知っていましたか。(単一選択)

- ア 「車道」の「左側」通行のことを知っていた
- イ 「車道」を通行することは知っていたが、「左側」は知らなかった
- ウ 全く知らなかった

Q11 自転車が通ることが可能な歩道を通行するとき、「自転車は歩道の中央から車道寄りを徐行する」というルールを知っていましたか。(単一選択)

- ア 「車道寄り」を「徐行する」ことを両方知っていた
- イ 「車道寄り」は知っていたが、徐行することを知らなかった
- ウ 「徐行する」は知っていたが、車道寄りは知らなかった
- エ 「車道寄り」も「徐行する」ことも、両方とも知らなかった

Q12 歩行者の立場でお答えください。特に自転車利用者にとってほしい交通ルールはどれですか。(複数選択可)

- ア 自転車は車道の左側を走り、歩道は走らない
- イ 歩道上では歩行者優先で徐行し、歩行者の動きを妨げない
- ウ 携帯電話、傘さしなど、ながら運転をしない
- エ スピードを出しすぎない
- オ 特になし
- カ その他(簡易自由記載欄あり)

Q13 自動車を運転する立場でお答えください。特に自転車利用者にとってほしい交通ルールはどれですか。(複数選択可)

- ア 自転車は車道の左側を走る(右側は走らない)
- イ 歩道からの飛び出しをしない
- ウ 携帯電話、傘さしなど、ながら運転をしない
- エ 道路の急な横断、方向転換をしない
- オ 特になし
- カ 自動車は運転しない
- キ その他(簡易自由記載欄あり)

Q14 今までに自転車の交通ルールを教わる機会(例:学校、交通安全教室、講習会など)はありましたか。

いつ頃受けたのか、あてはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

- ア 小学校の頃
- イ 中学校、高校、大学の頃
- ウ 社会人になってから
- エ 高齢者になってから
- オ 受けたことはあるが、いつ頃かは記憶にない
- カ 受けたことがない

Q15 自転車に関する交通ルールや自転車の乗り方について、日頃から疑問に感じていることなどがあれば自由にご記入ください。
(例:歩道のない道路での走り方、車道を走るときの交差点での右折の仕方、など) (自由記載)